



明石市東播建設労組 ◇

ヒバクシャ国際署名 5000枚の署名用紙を取り寄せ

被爆者とともに訴えに反響



【写真】左から津川・筆頭代表理事、釘宮常任理事と英会話教室生徒、垣本・新婦人平和部長、立川・県被団協事務局長、左/伊木・民青県委員長

兵庫県原水協 6・9 行動を被爆者とともに

☆9月6日、9日、兵庫県原水協は元町商店街で6・9行動を行い、「ヒバクシャ国際署名」を訴えました。

立川重則・県被団協事務局長や津川・筆頭代表理事、垣本・新婦人平和部長、伊木・民青同盟県委員長などがマイクで、「核兵器禁止条約を発効させるために被爆者が訴える署名に協力を！」と呼びかけました。兵庫労連、兵商連、民医連、平和委員会、AALA 連帯委、共産党などからの参加者が「ヒバクシャ国際署名」訴えると、東京都で民主党結成時の『第一号党员』で、長妻議員の側近と名乗る方が、「核兵器禁止条約に反対する安倍政権を退陣させないと！」と語りながら署名に応じるなど、次々と署名が寄せられました。

県被団協が県内諸団体に要請行動一神社本庁、創価学会なども

10.24ヒバクシャ国際署名推進のつどいに伊藤舞・芦屋市長が出席の回答

◎兵庫県被団協の役員は3日と6日、首長顔写真入り署名用紙と10月24日(国連軍縮週間初日)に行う「ヒバクシャ国際署名推進のつどい」の案内のために兵庫県知事、県議会各党派と県内諸団体に要請訪問しました(車・運転手は建交労にご協力いただきました)。訪問したのは、コープこうべ、日本基督教団兵庫教区、天理教兵庫教務支庁、神戸ムスリムモスク、兵庫創価学会、兵庫県民医連、兵庫県保険医協会、熟年者ユニオン、兵庫県神社庁(湊川神社)など。神社庁は日本会議本部の所在地でもありますが、2度目の訪問でした「検討します」と好反応。どの宗教団体も検討を約束してくれ、「核兵器なくすのは当然」とまったく抵抗感もありませんでした。どこでも、兵庫県内のほとんどの首長が賛同し、顔写真まで載せて署名を訴えていることで共感を広げています。これまでも、弁護士会、司法書士会、県医師会、県病院協会、県民間病院協会、県歯科医師会、県商店連合会、県薬剤師会、県遺族会、県商工会連合会、県看護連盟(看護協会を訪ねるつもりが間違っ「連盟」を訪問)、県中小企業団体中央会、県老人クラブ連合会、県農業協同組合中央会(JA兵庫中央会)、立正佼成会神戸教会、神戸華僑総会、県生活協同組合連合会などに要請を行ってきました。

◎自治体には、当該の被爆者の会からも要請を行い、高砂市議会が「署名推進決議」を全会一致で採択、伊丹市の「老人クラブ連合会」から80筆、尼崎市ダイバーシティ推進課から27筆が届けられるなど、署名の広がりを実感させる状況が生まれています。

大急ぎで署名用紙を預ける運動を広げましょう